

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【公開番号】特開 2005-265302 (P2005-265302A)

【公開日】平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)

【年通号数】公開・登録公報 2005-038

【出願番号】特願 2004-78667 (P2004-78667)

【国際特許分類】

F 2 5 D 23/00 (2006.01)

B 6 5 D 25/20 (2006.01)

B 6 5 G 61/00 (2006.01)

G 0 1 K 1/02 (2006.01)

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

G 0 6 Q 30/00 (2006.01)

G 0 6 K 17/00 (2006.01)

【F I】

F 2 5 D 23/00 3 0 1 G

B 6 5 D 25/20 Z

B 6 5 G 61/00 5 2 0

B 6 5 G 61/00 5 2 4

B 6 5 G 61/00 5 5 0

G 0 1 K 1/02 R

G 0 6 F 17/60 1 1 4

G 0 6 F 17/60 3 0 2 A

G 0 6 K 17/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 22 日 (2006.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】保冷状態監視装置及び保冷状態監視プログラム

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

数値を記憶する記憶部，

商品に直接装着され、その商品の温度を測定することによって温度情報を生成する温度センサを有する電子タグとの間で情報通信を行う電子タグ通信部，

前記商品が保冷されている間に、前記電子タグ通信部を介して前記電子タグから温度情報を定期的に取得する温度情報取得部，

前記温度情報取得部が定期的に取得した各温度情報の示す温度が 1 つ以上の条件のうちの何れかを満たす毎に、前記記憶部内の数値を増加させる判定部，及び、

前記商品の保冷が終了した際に、前記記憶部内の数値の増加に比例して変化する数値情報を、その商品の傷みの程度を示す情報として提示する出力部

を備えることを特徴とする保冷状態監視装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

前記商品が保冷されている間に、商品に直接装着され、その商品の温度を測定することによって温度情報を生成する温度センサを有する電子タグとの間で情報通信を行うことにより前記電子タグから温度情報を定期的 to 取得する温度情報取得ステップ、

前記温度情報取得ステップで定期的 to 取得した各温度情報の示す温度が 1 つ以上の条件のうちの何れかを満たす毎に、数値を記憶する記憶部の数値を増加させる判定ステップ、及び、

前記商品の保冷が終了した際に、前記記憶部内の数値の増加に比例して変化する数値情報を、その商品の傷みの程度を示す情報として提示する出力ステップ
を保冷状態監視装置に実行させることを特徴とする保冷状態監視プログラム。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

上記の課題を解決するために発明された保冷状態監視装置は、数値を記憶する記憶部、商品に直接装着され、その商品の温度を測定することによって温度情報を生成する温度センサを有する電子タグとの間で情報通信を行う電子タグ通信部、前記商品が保冷されている間に、前記電子タグ通信部を介して前記電子タグから温度情報を定期的 to 取得する温度情報取得部、前記温度情報取得部が定期的 to 取得した各温度情報の示す温度が 1 つ以上の条件のうちの何れかを満たす毎に、前記記憶部内の数値を増加させる判定部、及び、前記商品の保冷が終了した際に、前記記憶部内の数値の増加に比例して変化する数値情報を、その商品の傷みの程度を示す情報として提示する出力部を備えることを、特徴としている。